

令和5年第10回定例会議

教育委員会会議録

令和5年12月22日

羽島郡二町教育委員会

令和5年第10回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

※当議事録では、個人情報に関する記述の省略・不適切な表記の訂正などを行っている部分があります。

○日 時 令和5年12月22日（金曜日）午前10時30分から午前12時15分まで

○場 所 岐南町役場2階 会議室2-1

○会期の決定について

<日程第1> 前回の会議録の承認について

<日程第2> 教育長の報告

○協議題

- <日程第3>
- (1) 令和6年度教職員定期人事異動の方針と重点（案）について
 - (2) 令和5年度「小・中学校卒業証書授与式」割り振り表 並びに
令和6年度「小・中学校入学式」割り振り表について
 - (3) 羽島郡二町教育委員会 県外視察について
 - (4) 令和6年度秋季休業日等について
 - (5) 令和5年度羽島郡二町キッズウィークのアンケート結果について
 - (6) 次回（令和6年第1回）教育委員会定例会の開催について
【日 時】 2月15日（木）10時00分
【場 所】 笠松町役場3階 第2会議室
 - (7) 令和5年度第2回羽島郡二町教育委員会運営協議会について
【日 時】 2月15日（木）13時30分
【場 所】 笠松町役場3階 特別会議室
 - (8) 次々回（令和6年第2回）教育委員会定例会の開催について
【日 時】 3月 日（ ） 時 分
【場 所】 岐南町役場4階 会議室4-1
 - (9) その他

○出席者

教育長	野原弘康
教育委員（教育長職務代理者）	久納万里子
教育委員	岩井弘榮
教育委員	西雅代
教育委員	羽田野正史

○説明のために出席した者

総務課長	坂井政俊
学校教育課長	宮川浩司
社会教育課長	藤枝豊和

1 本日の書記

総務課長	坂井政俊
------	------

教育長	(午前 10時30分 開会) <開会> 只今より、令和5年第10回 羽島郡二町教育委員会定例会を始めさせていただきます。この一年間の皆様方の思いも伺いながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
教育長	<会期の決定について> 初めに会期の決定についてお諮りします。議事日程により、会期については、本日1日とすることとしてよろしいでしょうか。
教育長	【異議なし】 ありがとうございます。異議なしと認め、会期は1日とさせていただきます。
教育長	<日程第1> では、日程第1「前回の会議録」について、総務課長より報告をさせていただきます。
総務課長	前回の会議録についてご報告いたします。資料2頁をご覧ください。

令和5年第9回羽島郡二町教育委員会定例会議は、令和5年11月28日（火）13時30分より 岐南町役場2階 会議室2-1で開催されました。

その会議の概要をご報告します。

まず、議題といたしまして

議案第30号 岐南町社会教育委員の委嘱について

・総務課長が、岐南町議会の新議長に「櫻井 明」氏が就任したことに伴い、前任者の残任任期である令和6年3月31日までの期間を委嘱することの説明を行い、承認していただきました。

議案第31号 羽島郡町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について

・総務課長が、岐阜県教育委員会から通知されております例規の文言との整合性を図るため、「海外旅行」についての記述中の文言を一部削除することの説明を行い、承認していただきました。

議案第32号 区域外就学の申請許可に関する基準一覧表について

・総務課長が、進学を控えた小学校6年生および中学校2学年後期以降に転校しなければならなくなった場合など、教育的配慮が必要と認められる場合について、区域外就学を可能とするための説明を行い、承認していただきました。

次に、協議題としまして

(1) 羽島郡二町教育委員会県外視察の実施について

・学校教育課長が、視察会場の候補の5会場について説明を行い、3月15日の国立オリンピック記念青少年総合センター または 2月10日の奈良女子大学附属小学校について最終検討を行った結果、国際オリンピック記念青少年総合センターでの研修を第一候補とすることを承認していただきました。

(2) 令和6年度キッズウィークの日程について

・学校教育課長が、現在のところまだ周知されていないことを報告。その上で、給食センター等が年末の準備に入ることを勘案した結果、早めに通知することが適切であることを説明し、日程について承認していただきました。

(3) キッズウィークのアンケート結果について

・社会教育課長が、郡内の小学3年以上の児童・中学生・小中学生の保護者・教

	<p>職員を対象にウェブを活用したアンケート調査を実施したことを報告。経年での変化が比較できるよう、「家族とのふれあいについて」「地域との関わり」「キッズウィークの充実度」について尋ねた内容となっていることを報告しました。</p> <p>(4) 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会アンケートについて ・総務課長が、11月10日（金）可児市で開催された総会への参加お礼を述べた後、振り返りに関するアンケート提出依頼があることを説明し、次回定例会時に回収することを、承認していただきました。</p> <p>(5) 令和5年第10回（12月）教育委員会定例会について ・総務課長が、12月22日（金）10時30分から、岐南町役場2階 会議室2-1で開催することを説明いたしました。</p> <p>(6) 令和6年第1回（2月）教育委員会定例会 および (7) 令和5年度第2回（2月）羽島郡二町教育委員会運営協議会について ・総務課長が、2協議案について一括説明し、2月15日（木）が候補日となっていることを報告いたしました。</p> <p>(8) 令和6年第2回（3月）教育委員会定例会について ・総務課長が、例年第2回（3月）教育委員会定例会終了後に、学校教育課 主幹による来年度の教員の人事異動の説明・調印式を予定していることを説明し、その調印式の日付に合わせて実施することを、承認していただきました。</p> <p>以上が、令和5年第9回教育委員会定例会議の報告でございます。</p> <p>教育長 では、只今の報告につきまして、何かご意見等よろしいでしょうか？</p> <p> 【異議なし】</p> <p>教育長 ありがとうございます。</p> <p>教育長 <日程第2>教育長の報告 では続いて私の報告になります。よろしくお願いいたします。 まず、資料1です。それぞれの小中学校の公表会に参加をしていただきまして</p>
--	--

ありがとうございました。私が公表会と全部の学校の訪問を終えて、感じていることは、子供の変化という部分で、その授業に向かう、或いは学びに向かう向かい方への子供の意識が少し変わってきており、態度に表れてきているので、本当にうれしく思っていることです。

それでは内容に入ります。

最近の岐阜地区の教育長会では、山積している様々な問題・課題について意見交換をしている状況です。

<人事異動について>

教員不足の影響というのは、非常に大きいものがあります。その要因の一つとして、勤務の本拠地制度というものが考えられます。

羽島郡は他市町に比べると、勤務の本拠地を羽島郡にしたいという先生方がいらっしゃる方が非常にありがたく思っております。勤務の本拠地であれば、一校7年まで勤務いただけるわけですが、勤務の本拠地でない方は、3年勤務していただき異動するということになります。

そういった制度で、地域のこと・子供のことがわからないままで変わってしまう人事異動はどうかという意見もありました。制度としては市町間交流という他市町で3年間経過した後戻ってくるといった制度や、義務教育学校も含めた特別支援学校、或いは教育実習校への派遣もありますが、今お話ししたような難しさが増してきていると感じているところです。

また、年度途中の採用を含めて補充する制度が非常に難しく、常勤で働いていただける方がなかなか見つからないといった状況にあります。非常勤ならよいといった方が多いということです。非常勤で務めていただけるだけでもその学校としてはありがたいので、そういった仕組みの弾力化もぜひ行ってほしいというお願いをしております。

本当に1人の先生の存在には大きいものがあり、その先生をどう支えていけるのか、先生が困らないようにするためにはどうしたらいいのかということを考えていかなければならないと考えております。

<働き方改革について>

毎月、勤務時間外の調査をしています。羽島郡の先生方の調査結果から見ると、割と良好な結果ではありますが、ある市の教育長さんがおっしゃるのは、子供に向かって十分愛情を注げるような状況にすることが一番大事なことではあるが、ある意味それを利用して、権利の主張だけで終わってしまうような先生が増えて

いるということです。やはり子供たちへの温かい愛情であったり、教育への情熱であるとかを絶対薄れさせてはいけないことを先生方自身に持ってもらわないと駄目だと思います。

指導力を高め、子供たちが味わう喜びを自分のものにできるかというあたりを広げていきたいと考えております。

<市町の実態に応じた施策について>

他の市町村では、義務教育学校の設置や、小規模学校が共同で学ぶ仕組みづくりを考えております。

羽島郡は何を大事にしているかというところですが、各学校におけるきめ細かな支援を進めていくことが大切だと考えており、学校運営協議会であるとか、地域学校協働活動も含め、子供たちの生活そのものすべてが学ぶ場であるというところをしながら、学校教育も含めて進めていけたらいいと思っております。

情報提供を保護者や地域の方にお話していくということ、子供の充実感、そうした指導教育の内容での充実を図っていききたいと思っております。キッズウィークもそうした側面があるので、大事にしていきたいと思っております。

<ハラスメント問題について>

新聞でもいろいろありますが、県立高校の先生の件、中学校の助成金の件など、信用失墜行為に関する事。また、校長先生のことばにより2人の先生方が病休を取られたことで、指導したつもりがパワハラととらえられてしまう。そうした世の中に対し、遠慮しながら、言葉を選びながら話さなければならないという社会になり、自分としてはもどかしさを感じざるを得ません。

話は変わりますが、先日 岐阜聖徳学園大学の教授の玉置先生の話をお聞きしました。現役時代は愛知県で教員をされてみえましたが、その先生に共感できることが多くあり、日頃の先生方との関わり方が非常に大事だと思いました。人間だから、合わないとか話しやすい話しにくいはあるだろうが、話しにくい人にほど近づいていくといったこと。そうした相手のことを考えながら接した先生だなど思いましたし、学校経営の基盤になったと、夢が広がるような話をさせていただきました。

<不登校に関する対策について>

実態はこのような数字になっています。（資料参考）

7月と12月と3月の時点で、年間30日以上の子供生徒が何人ということで調査

	<p>をしています。毎月7日以上欠席者の調査もしています。左から児童生徒数、そして欠席が多いということは、不登校が原因ばかりではなく、様々な事情でということです。そして3番目に不登校を原因とする欠席数です。</p> <p>羽島郡で何ができるかを考えたとき、学校へ来られるけれど教室に入れない子を対象とするなら、その子の学校での生活スペースを作ってあげればよいと思うし、踏み出せない引きこもり傾向の子なら、どこかに行けるという場を作ってあげなければならないと思うし、そういった一人一人の実態によって変えていくことが大事だと思います。アウトリーチの必要性も感じています。</p> <p>今年度予算でできるかどうかわかりませんが、ホットルーム・心の相談員の部屋などを作っていく必要があると感じています。</p> <p><郡市・県PTA連合会への登録について></p> <p>PTAの加入率について、先ほども少し話題になりました。親が仕方なく加入しているという意識であれば、意味がない。PTAをやっている子供のためになるということを親が感じてもらえるような活動にしていかなければならないと思っております。</p> <p>先日のPTAセッションも、親が親としてできること、親として子供に夢を抱きながらやれること、或いは学んでよかったなといったものを積み重ねていくことが、大事であると思っております。</p>
教育長	<p>今話をしたところでご質問等あればお願いします。</p>
岩井委員	<p>不登校の問題には、人の問題やお金の問題もついてまわるわけですね、この現状でいいのかという気がしないでもない。納得しなければいけない。</p>
教育長	<p>私が学校体制を見ていて、その子供への優しさというか、子供の気持ちを考えるというか、察するというか、そうした体制は、昔と比べて少しずつ変わってきているなということを思います。しかし、それが子供の具体的な一歩に繋がっているのかどうかということです。模索しながら、その子供たちが将来社会に出るときにどう活躍するか、生きていけるかという部分まで見ていく必要があるということは思います。</p>
久納委員	<p>先日、子ども居場所づくりの会議に出席しました。その中で、児童生徒によって状況が違うので、一つの居場所だけではなく、いろんなタイプの居場所が必要</p>

羽田野委員	<p>だということを聞きました。追跡調査をした結果、小学生中学生に対しての居場所は作られてはいるけれども、それが将来にどう結びついていくかは、どの自治体においても今後の課題になっているということです。</p> <p>ひきこもりに対する問題は多いと感じています。親の年金で暮らしているという家庭もあると聞いています。社会が大きく、変化してきました。日本は、平和でいいのかもしれないのですが、ちょっと違うような気がしています。</p> <p>今こういう立場になって、いろいろ勉強していますが、非常に心配になっています。</p>
西委員	<p>昔であれば、保健室がほとんどだったのに、今はいろいろなひきこもり場所があるのだそうです。</p> <p>話は変わりますが、高校受験の時、出席日数は関係ないのですか。</p>
教育長	<p>一応、報告はします。</p>
学校教育課長	<p>私立の中には出席日数を考慮し、推薦条件などを決めているところがありますが、公立高校については、基本的には自分で申告書が出せますので、こういう理由でということを示し、受検上不利にならないような配慮をしています。</p>
久納委員	<p>私立高校の説明会に行ったのですが、欠席日数が何日だったら、推薦要件に入りませんという記述が削られていました。出席、欠席を問わないといった傾向にあるようです。</p>
教育長	<p>学校だけの世界ではなく、地域みんなの力を合わせて子供と関わっていくというベースがあると、この数字もまたちょっと変わってくるのかなと思っております。</p>
岩井委員	<p>この数字を見ていて、子供たちのまわりが、そこまで学校に行かせなければならぬという意識がないケースが結構あると思います。</p>
教育長	<p>日常生活すべてが子供の教育というとらえ方をしてかないといけないのかなと、常々考えております。</p> <p>では続いて協議題に入ります。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>日程第3 (1) 令和6年度教職員定期人事異動の方針と重点(案)について 事業方針の重点ということで来年度、県教育振興計画も変わってきますので、それに準じて、適材適所の配置に努めて参りたいと考えています。</p> <p>羽島郡二町教育委員会の重点としては、特に(2)小中学校の人事交流、広域人事異動・地域内一般異動・地域外一般異動など、人事が硬直化しないよう、また研修案件についてはきちんと提出してもらい、先生たちを戻していくということ、今年度も行っていきたいと考えております。</p> <p>(3)の中堅教諭の確保は、今現在 計画的に行いしつつも、一校間・二校間の若い先生を入れながら、適正化も行い、指導体制の整備ということで、今行っている制度の研修校派遣の先生が戻ってくる3年4年後を見据えた異動を行ってきたいと考えています。</p> <p>(4)の育休・産休及び欠員が出ないように、また育児短時間勤務については、やはり希望者が多いです。そういった先生についても、子供のために変われるようにすること、そういったことをするためにベテランの講師の方を配置できるように考えております。</p> <p>実施要項についての、今年度新しく変わったのは、(以下のとおりです)</p> <p>(2)③原則として「羽島郡勤続(連続)10年以上」または「岐阜教育事務所所管内勤続10年以上」の教諭で、令和5年度末55歳以下の者全員を対象として、計画的に広域人事異動を行う。養護教諭・栄養教諭についても教諭と同じ基準で郡市間異動を行う。</p> <p>(2)④地域内一般異動及び地域外一般異動は広域人事異動完了者を対象とする。地域外一般異動は異動3年後に本人の意思を確認し、出元と出先の市町間の協議により年数を決める。地域外一般異動による配置の期間は3年間とする。養護教諭・栄養教諭についても教諭と同じ基準で行う。</p> <p>(3)③へき地小規模校、研修校、義務教育学校、在外教育施設、他県交流、高等学校、特別支援教育諸学校、各種教育機関への研修のために計画的に派遣する。特に、将来リーダーとして期待できる中堅教員には、積極的に働きかけていく。</p>
---------------	--

<p>学校教育課長</p>	<p>日程第3(2) 令和5年度「小・中学校卒業証書授与式」割り振り表(案)並びに令和6年度「小・中学校入学式」割り振り表(案)について</p> <p>5ページ・6ページ・7ページで出させていただきました。卒業式に関しては教育委員さんと、教育長、学校教育課長、社会教育課長および町からの出席者でございます。入学式につきましては、教育長および教育委員会職員でございます。</p> <p>— 割り振り表について説明 —</p> <p>(原案通り可決)</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>日程第3(3) 羽島郡二町教育委員会 県外視察について</p> <p>8ページから13ページをご覧ください。前回の教育委員会で説明いたしましたが、東京のオリンピック記念青少年総合センターの方で行うということで、今調整しております。</p>
<p>総務課長</p>	<p>10ページから13ページが、今回取り寄せました東京でのフォーラムの案内パンフレットになります。</p> <p>3月15日(金)と16日(土)に行われるもので、3月15日には、イベントのメインである特別講演が10時50分から11時50分まで、またその後、基調講演が13時20分から14時20分まで開催されます。このイベントに出席するにあたって「前泊し、当日帰ってくる」「当日早朝出発し、翌日帰ってくる」など、どの講演・授業・セミナー・ディスカッション・展示に参加するかにより変わってくるため、それによって日程を決定しようと考えておりますので、ご検討のほどよろしくお願いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>続きまして、日程第3(4)について、お願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>日程第3(4) 令和6年度秋季休業日等について</p> <p>14ページ・15ページをご覧ください。秋季休業日については、関係機関に14ページのような形で通知させていただきました。ただ、学校は行事を進めていると思いますので、保護者には学校を通して通知をしたほうがいいのか、教育委員会から一斉に通知をするのか現在検討しているところでございます。ご承知おきください。</p>

教育長	<p>続いて、日程第3（5）について、お願いします。</p>
社会教育課長	<p>日程第3（5） 令和5年度羽島郡二町キッズウィークのアンケート結果についてご説明します。16ページからをご覧ください。</p> <p>今回提示する資料については、すぐーるを利用して、郡内小中学校の保護者にも公表しています。</p> <p>○「質問1」家族とのふれあいについて、キッズウィーク中、家族とふれあう時間は増えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の90%、保護者の78%が、「家族とのふれあい」が普段より増えたと回答しています。ふれあいの主な内容は、次のとおりでした。（資料に示してあります） <p>この機会を利用して、家族で出かけたところが多いようです。手伝いや料理を通してふれあう家庭もあり、普段より親子で話をする時間が増えたという記述が多く見られました。</p> <p>○「質問2」地域との関わりについて、キッズウィーク中、地域と関わる機会がありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の51%、保護者の48%が、「地域と関わる機会」があったと回答しています。地域との関わりの主な内容についても、紙面をご覧ください。 <p>今年度は地域の行事で復活したものが多く、前年度と比べて参加した児童生徒は増えています。また、部活動やクラブ活動、スポーツ少年団で仲間と活動した子も多くいました。</p> <p>○「質問3」キッズウィークは充実していましたか。有意義でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらかといえばも含め、児童生徒の90%が充実していた、保護者の79%が有意義であったと回答しています。 <p>質問1と質問3のグラフを見比べていただくと、お気づきになられると思いますが、児童生徒・保護者とも質問1と質問3で同じような傾向を示しています。ここから、家族とふれあう度合いが、充実度にも影響していると考えられます。</p> <p>続いて18ページからご覧ください。こちらは記述からのものです。</p> <p>○充実していたと回答した児童生徒の記述</p>

- ・家族と一緒に出かけをしたり、一緒に何かをしたりする時間が増え、家族と楽しい時間を過ごせた子がたくさんいました。両親が仕事で忙しいため、祖父母と楽しい時間を過ごした子もいたようです。
- ・キッズウィーク期間中は、地域のイベントも充実しています。遠くへ出かけなくても、地域で楽しい時間を過ごした子もたくさんいました。
- ・中学生になると、地域のイベントにボランティアとして参加し、自己有用感を味わった子もたくさんいるようです。
- ・中学生ともなると、自分で時間の使い方を考え、普段なかなかできないことに時間を費やし、有意義に過ごした子がいます。時間に追われる日常から一時的に解放され、キッズウィークがリフレッシュにつながった子もいるようです。
- ・キッズウィークのねらいの一つである「家族とのふれあいを増やす」ことも、充実感につながりますが、地域と関わりをもつことや、普段は時間に追われてなかなかできない自分の好きなことに時間を使うことも、子どもたちにとっては充実感につながっていることがわかります。

○充実していなかったと回答した児童生徒の記述

- ・「特に何もしなかった」と感じている児童生徒がいます。キッズウィークの過ごし方について、事前に目標をもたせることも大切であると感じます。また、中学生では、休み明けにあるテストに負担を感じている子もいるようです。

○有意義だったと回答した保護者の記述

- ・「あらかじめ秋休みの日がわかっていたため、親も計画的に有給休暇を取りました。気候の良い時期で、他の市町村は学校が休みではないため、普段は混んでいる場所に遊びに行きました。夏休みならもっと混んでいるだろうし、暑くてこんなに遊ばせん。一週間の秋休みがある岐南町に住んでいてよかったと心から思いました。」
- ・この機会に、保護者も休みを取ったという記述が多くありました。まとまった休みを利用して、旅行や実家への帰省など、遠方に出かけた家庭が多くあったようです。また、秋休みのすべてを休暇にできないまでも、1日、2日の有給休暇を取り、親子で有意義に過ごしたという記述も多くありました。秋休みが、有給休暇を取得するきっかけになっている面もあると感じます。
- ・世の中には、土日に働いて私たちの生活を支えている方がいます。普段は親子の休みがなかなかそろわない家庭にとって、キッズウィークが家族そろって過ごせるよい機会となっているという記述もいくつかありました。

・平日に学校が休みという点では、夏休み（春休み・冬休み）もありますが、秋休みは、過ごしやすい気候で健康面の心配が少ないことや、他の市町村は学校が休みではないところが多いため、出かけ先も空いていることが多いようです。そのメリットを生かして、保護者自身も子供と一緒に楽しんだという記述が多数ありました。

・羽島郡二町は、夏休みが8月24日までと、岐阜地区の6市3町では最も短くなっています。例えば、隣接するA市は夏休みが8月29日まで（秋休みは羽島郡二町より2日間短い）、B市は夏休みが8月31日までで、秋休みはなしとなっています。

・保護者が忙しく、親子の時間を増やすことが難しいなかでも、子ども自身はキッズウィークを有意義に過ごせたという記述がいくつかありました。

○有意義ではなかったと回答した保護者の記述

・「休みたくても仕事を休めなかった」という保護者もいらっしゃいます。キッズウィークに負担を感じ、「廃止してほしい」、「期間を短くしてほしい」という意見もあります。

●今回のアンケート結果にあるように、キッズウィークは子どもたちにとって貴重な機会となっています。日常の学校とは違う場で、家庭や地域で子どもたちが成長できる機会が得られるよう、家庭の理解や地域の協力をいただき、キッズウィークを継続していきたいと考えています。一方で、保護者が休みを取ることが難しい家庭もあることを踏まえ、より多くの子どもが充実感を感じられるよう、家庭以外でも豊かな体験ができる環境を、さらに整備していく必要があると考えています。

本日、教育長の冒頭の話にもあったように、子供たちの生活すべてが学びの場であり、決められた学校の授業だけではなく、自分で自由に使える時間をいかに使うか、そういうことも子供たちがつけなければいけない力だと思いますので、キッズウィークは、子供たちを育てるために活用できると考えております。家族で出かけることが難しい子たちにも、10日間のうち1日でも地域で何か体験をする場を提供できないか考えていきます。

教育長

これについては、保護者の方へ伝わっていますね。

社会教育課長

はい。

岩井委員	<p>長期の休暇は、なかなか定着しないものですね。理想は2週間ほど休みをとって親も一緒に活動することだと思いますが、それができるのは、ごく限られた一部大企業の人間だけだと思います。</p>
教育長	<p>山口市にもキッズウィークはありますが、本当にカレンダー通りの 又は 暦通りの休みだけのものです。私はこの羽島郡のキッズウィークは、一つの大きな財産になっていると思っています。誰もがとといった点で考えたときに、どうするのが一番なベターなのかを含めて考えていきたいと思っています。</p> <p>日程第3（6）について、お願いします。</p>
総務課長	<p>続きまして、日程第3（6） 次回（令和6年第1回）教育委員会定例会 および日程第3（7） 令和5年度第2回羽島郡二町教育委員会運営協議会については、一括で説明いたします。資料の22・23ページをご覧ください。</p> <p>この2つの会議につきましては、教育委員および職員の事務負担軽減のため、同日で行うことが通例でございます。2月15日（木）に笠松町役場で、10時00分から定例会、13時30分から運営協議会を行います。よろしく願いいたします。</p>
総務課長	<p>続きまして、日程第3（8） 次々回（令和6年第2回）教育委員会定例会についてです。</p> <p>例年、第2回（3月）教育委員会定例会終了後に、学校教育課 主幹による来年度の教員の人事異動の説明・調印式を実施しております。調印式の日程については、現在のところ3月上旬予定で詳しい日付は決定しておりません。今年度についても「調印式」の日付に合わせて第2回定例会を実施したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
総務課長	<p>最後になりますが、日程第3（9） その他でございます。</p> <p>先般、11月10日に「令和5年度岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会」についてのふり返りのアンケートを依頼いたしました。本日、回収させていただこうと思っております。忘れられた方もみえると思いますので、白紙の用紙をこちらで用意しておりますので、仰っていただければよいかと思っております。よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>時間が押してしまい申しわけございませんが、最後に1年間を振り返っての思いを聞かせていただけないかと考えております。</p>

久納委員	<p>この1ヶ月ぐらいの間に各学校の公表会に出席させていただいた感想です。最初に東小学校の公表会では、皆がタブレットを使って授業を受けていたことに驚かされました。今までタブレットを使う授業はいろいろ見させていただきましたが、実際にロイロノートを活用した授業は百聞は一見にしかずで、これは便利だと思いました。その時に、先生たちがタブレットのモニターばかりに集中するのではなく、子供の顔を見ながら、指導をしていただきたいと思いました。</p> <p>笠松小学校の公表会に行った時は、道徳ということもあり、タブレットは一切使わず、完全対面で先生が話をし、生徒が手を挙げて、自分の意見は発表するというものでした。自分の意見をまとめてみんなの前で発表する、先生の話聞くということもすごく大事なことであり、先生もその場に応じて即興でパフォーマンスをしなくてはいけないので、先生の力量が問われるのですが、方やロイロノートによる授業も必要であり、一方で完全対面による授業もしなければなりません。全然違うタイプの授業を見せていただき、勉強になりました。</p> <p>あとは、PTAセッションについては、今まで私が全然気がついていなかった課題がこんなところに大きくあるのかと感じました。PTAの加入者は多いが、役員のなり手がいないと聞き、ここが一番ネックかなと思いました。</p>
岩井委員	<p>今は学校全体が落ち着いていますが、それがいつまでも続いて欲しいなと思っています。それと働き方改革だとかいろんなことが言われています。そうするとやはり学校の正しい姿というもの、今やっていることをストレートに地域に発信しなければいけないだろうと思います。また学校は、従前と同じことやっているだけでは取り残されていくのではないかと感じています。</p>
羽田野委員	<p>私も本当に、同感です。笠松小学校の先生方は、大変上手に子供たちの力を引き出そうとしている。そういった研究をされていると感じました。また、子どもたちも、すごく元気があつてよいと感じました。</p> <p>キッズウィークについては、親が旅行を計画しても、部活などにより行けなくなることもあるといったことは、考えなければいけない問題であると思いました。</p>
西委員	<p>教育委員になる前は、親側の立場でしか教育を見ることをせず、先生側のことは考えていなかったのですが、教育委員になり先生たちの実状も知ることができ、中立的な立場に立てたように感じています。</p> <p>キッズウィークに関しても問題もありますが、年々過ごし方が上手くなっているように感じています。</p>

<p>教育長</p>	<p>あとPTAも部活も一緒に、地域に移行されているというのものもあるかもしれませんが、全然参加せず簡単に休めるといった現状です。</p> <p>考えていかなければならない課題は、多くあると思います。今年1年間、ありがとうございました。いただいたご意見は、またきちんと受けとめていきます。</p> <p>申し遅れましたが、資料1については、今回1枚目しか説明いたしませんでした。2枚目以降は東洋経済オンラインの中の情報ですので、お時間のある時に目を通していただければ幸いです。</p> <p>また、12月議会の答弁書についても、掲載しておきました。言葉尻を割愛したものもありますが、このような質問があったということで、お時間があれば一読をお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>以上で、すべての議題についての協議は終わりました。これをもちまして、第10回教育委員会定例会を閉じさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(午前 12時15分 閉会)</p>